

## 施策評価調書(21年度実績)

|      |  |               |       |          |
|------|--|---------------|-------|----------|
| 政策体系 | 施策名  | 広域交通網の整備推進    | 施策コード | IV-2-(1) |
|      | 政策名  | 交流を支える交通体系の充実 | 主管部局名 | 土木建築部    |
|      |  |               | 担当課室名 | 建設政策課    |
| 施策概要 | 九州の西側に比べ、鉄道サービスや高速道路網の整備が遅れている九州の東側に位置する本県では、交流や物流の円滑化、高速化が求められており、県外からの観光客の誘致や産業競争力の向上などのため、高規格幹線道路や地域高規格道路、港湾施設などの建設促進に取り組むとともに、航空や鉄道及び海上輸送を含む多様な交通ネットワークの充実に取り組む。 |               |       |          |

### 【評価指標】

| 主な取組 |                         | 指標  |                            | 基準値 |       | 21年度     |       |        | 22年度  | 27年度  |
|------|-------------------------|-----|----------------------------|-----|-------|----------|-------|--------|-------|-------|
|      |                         |     |                            | 年度  | 基準値   | 目標値a     | 実績b   | b/a    | 目標値   | 目標値   |
| ①    | 広域交通網の整備推進              | i   | 県都大分市の中心部まで概ね60分で到達できる人の割合 | H16 | 89.8  | 92.7     | 92.7  | 100.0% | 92.0  | 94    |
|      |                         | ii  | フェリー航路の利用台数(万台/年)          | H16 | 89.4  | 92.4     | 67.5  | 73.1%  | 93    | 96    |
| ②    | 高速ICアクセスの強化             | iii | 高速ICに概ね30分以内に到達できる人の割合     | H16 | 86.2  | 95.0     | 95.0  | 100.0% | 94.0  | 97    |
| ③    | 鉄道の高速・複線化の促進と安全性・快適性の向上 | iv  | 大分県内のJR利用者数(乗客数:万人/年)      | H16 | 2,093 | 2,093    | 2,116 | 101.1% | 2,093 | 2,093 |
| ④    | 大分空港の利便性の向上             | v   | 大分空港の利用者数(万人/年)            | H16 | 187   | 197      | 155   | 78.7%  | 200   | 200   |
|      |                         |     |                            |     |       | 平均達成率(%) | 90.6% |        |       |       |

### 【業績評価】

| No. | 業 績 評 価 |  |  | 平均<br>評価 |
|-----|---------|--|--|----------|
| i   | 達成      | 東九州自動車道が佐伯まで延伸されたことをはじめ、地域高規格道路の中九州横断道路が犬飼から大野中心部まで整備されたことや国道10号、57号の渋滞箇所の拡幅工事などにより、県都大分市までの時間短縮が図られている。   |  |          |
| ii  | 著しく不十分  | 長引く不況などによるレジャーの手控えや貨物数の減少をはじめ、原油高騰をきっかけとしたフェリー会社の経営合理化による一部寄港地の廃止や運行便数の減少、また、昨年3月から始まった国による高速道路の利用料金、休日上限千円(ETC搭載車)などの施策により、長距離輸送業者や一般の旅客などの利用者が大幅に減少したため目標達成が不十分となった。 |  |          |
| iii | 達成      | 地域高規格道路の中津日田道路の一部供用をはじめ、各地域における県管理道路の整備の進展により、高速ICまでの時間短縮が図られている。  |  |          |
| iv  | 達成      | ダイヤ改善等により利便性の向上が図られ、目標を達成した。   |  |          |
| v   | 著しく不十分  | 世界的な景気低迷の継続により、特に輸出型製造業の占める比重の高い本県においては、ビジネス需要の減少が大きく影響したと思われる。その他にも新型インフルエンザの流行による”旅行控え”などの結果、大幅な利用者減となり、目標達成が不十分となった。  |  | 概ね達成     |